

項目		評価	内容	コメント
<b>1</b>	<b>理念・教育目標</b>			
1.1	設立当初の理念	A	21世紀を間もなく迎えるとする現在は、すでに「国際化」の時代から「地球化」の時代へと移りつつあるという認識の下、世の中を動かす一番重要な要素である「人」の「地球化」を目指す場として本学院を創設しました。本学院の最大の目的は、入学する優秀な学生が本学院において、日本語のみならず、日本文化・社会・経済・技術等を学ぶことによって、各々の国の「地球化」に貢献し、さらにそのことが日本社会への刺激剤となって、日本の「地球化」に寄与することにあります。狭いビジネスの枠を超えた事業として発展でき、そのことによって世界及び日本がより平和で活力のあるものになってゆけるよう最善の努力を尽くす考えです。	設立当時の理念を読み返しても全く色褪せていません。今後もこの理念を大切にしていきたいと思います。
1.2	教育目標	A	①☑生全員が希望する学校に進学すること。 ②☑人として不法滞在者を出不さないこと。 ③☑人として犯罪者を出不さないこと。	①希望者全員の進学により達成。 ②適正校維持により達成。 ③犯罪者0により達成。
1.3	育成する人材像	A	①日本語及び日本文化を十分に学び理解し、日本社会に積極的に溶け込んでいける人材。 ②☑に、将来介護士として働き、日本の介護業界に貢献し得る人材。	①☑校以来3千人を超える卒業生を輩出してまいりました。中には日本に残り、日本社会に貢献している人も多数おります。また、母国に帰国して、日本との橋渡し役を務めているものも多数おります。ただ、すべての卒業生の追跡調査を行ってはいないので、その全容を把握しているわけではありません。今後の検討課題です。 ②☑成29年度から特別介護クラスを設け、将来日本の介護業界で働く学生の養成を始めました。実際に介護クラスの学生は介護の専門学校へと進学しており成果が出ています。
1.4	理念、教育目標が社会の要請に合致していることの確認	A	理念、教育目標が社会の要請に合致していることの確認	特に、外国人に対する日本語教育や介護士の養成は現在の日本社会の要請に非常に合致していると確信しています。
1.5	理念、教育目標、育成する人材像が教職員及び学生に周知されているかどうか	B	理念、教育目標、育成する人材像が教職員及び学生に周知されているかどうか。	以前は毎年正月明けに教職員向けに経営方針を発表していましたが、最近はやっていません。来年度からはこれを復活します。また、学生募集では、募集時期毎に求める人材像を具体的に学生に提示しております。
<b>2</b>	<b>学校運営</b>			
2.1	日本語教育機関の告示基準に適合している。	A	日本語教育機関の告示基準に適合している。	はい、適合しています。
2.2	短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	B	短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	1-1-5に書いた通り、現在は経営計画書を作成していません。来年度から復活します。
2.3	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	A	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	創立以来、財団法人日本語振興協会や入国管理局に認められた学則に基づき適切に運営しており、今年度は更に学則の改定を行い、より良い学校運営に努めています。
2.4	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	B	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	決定された事項があり、その決定に基づいて執行されている部分もあるが、より一層の共有が必要であると考えます。
2.5	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	B	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	決定された事項があり、その決定に基づいて執行されている部分もあるが、より一層の共有が必要であると考えます。
2.6	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	B	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	日本語学校ネットワークの会員であるが、より一層、積極的に外部情報の入手と学内での共有に、努力が必要だと考えます。
2.7	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	A	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	学校のホームページは日本語、英語、ベトナム語で表記されています。また、パンフレットも英語版とベトナム版を作成しています。ただし、その都度変わる募集要項は日本語と英語のみなので、その辺は現地募集代理店に翻訳をお願いしています。
2.8	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	教務担当、生活指導担当がそれぞれ責任を持って対処する体制を取っています。
2.9	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	B	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	自己点検・評価作業は今回が2回目ですが、「組織的」に行うことをもっと意識するべきだとわかりました。
<b>3</b>	<b>教育活動の計画</b>			
3.1	理念・教育目標に合致したコースを設定している。	A	理念・教育目標に合致したコースを設定している。	現在はすべて進学コースとなっております。普通の進学クラスと介護クラスがあります。
3.2	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	B	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	普通の進学クラスは長年の実績に基づいたカリキュラムで編成されていますが、介護クラスは始まったばかりでまだ安定していません。今後体系的な編成を目指していきます。
3.3	国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考に設定している。	B	国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考に設定している。	Can-doの精神に則って教材選定をし、参考にしていますが、授業に活かさないと感じています。今後、さらにJLPTやCEFRを意識したカリキュラムが必要だと考えています。
3.4	教育目標に合致した教材を選定している。	A	教育目標に合致した教材を選定している。	卒業時まで持ち上がりのクラスのため、担当講師たちが学生にあわせて適宜テキストを選定し、使用しています。また、生活指導用にオリジナルで作成し、それをもとに指導を行っています。
3.5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	C	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	補助教材、生教材の出典は明らかにしていますが、著作権法については徹底していません。時折、問題集や教科書をコピーしている場合が散見されます。今後徹底して指導してまいります。
3.6	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	B	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	各クラスの講師間で定期的に打ち合わせを行っております。そして、その情報はすべての教職員が閲覧できることになっております。問題や調整が必要な場合は教務主任が中心になって対応しています。
3.7	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	コース別で求められる能力、経験を勘案して適切に教員配置をしています。また、専任教員の時間数も告示基準で示されている時間より大幅に少ない適切な時間数としています。
<b>4</b>	<b>教育活動の実施</b>			
4.1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	入学選考の際にある程度の日本語力はチェックしていますが、実際の来日時にプレースメントテストを行っています。それに基づき適切なクラス編成を行っています。尚、学生の日本語能力の判定者は専任講師が担当しており、使用しているプレースメントテストも長年使用しているもので適切であると考えています。

4.2	教員に対して、担当する学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A	教員に対して、担当する学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	新学期の開始と同時に必要な情報を教員に伝達しています。その後クラスミーティングによって、全教員が把握しています。学習者の入学前の情報を今後全教員で共有できるとさらによくなると考えています。
4.3	開示されたシラバスによって授業を行っている。	B	開示されたシラバスによって授業を行っている。	各クラスリーダーを中心に、スケジュールを定め、ミーティングを行い、全教員が納得のもとで授業展開されています。毎月の学習項目は、前月までに担当者が作成・開示をしています。シラバスはさらに内容を検討中です。
4.4	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	A		
4.5	理解度・到着度の確認が実施期間中に適切に行っている。	A		
4.6	学生の自己評価を把握している。	B		
4.7	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	B		
4.8	特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。	C		
5	<b>成績判定と授業評価</b>			
5.1	判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	B	判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	開示は徹底していないので今後の課題とします。
5.2	成績判定結果を的確に学生に伝えている。	B	成績判定結果を的確に学生に伝えている。	成績通知表は作成していないので今後の課題とします。
5.3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	B	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	試験の成績と授業中の様子など、担当教師の主観的評価が中心のためデータや妥当性の検証は今まで行ったことがありません。今後の評価法の課題かと思えます。
5.4	授業評価を定期的に実施している。	B	授業評価を定期的に実施している。	授業評価は適宜行ってはありますが、評価プロセス及び結果は記録していません。今後の課題とします。
5.5	評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。	C	評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。	評価方法と基準が明確とはなっていません。今後の課題とします。
5.6	学生による授業評価を定期的に実施している。	C	学生による授業評価を定期的に実施している。	今後の課題とします。
5.7	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力の向上等の取り組みに反映されている。	C	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力の向上等の取り組みに反映されている。	今後の課題とします。
6	<b>教育活動を担う教職員</b>			
6.1	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	B	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	以上の責任と権限は明確ですが、組織図、職務分掌規程又は職務分掌表などの文章は作成していません。今後の課題とします。
6.2	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	B	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	文書では明示していませんので、今後の課題とします。
6.3	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	はい、それらは明文化しております。
6.4	教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取り組みをしている。	C	教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取り組みをしている。	今後の課題とします。
6.5	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	C	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	今後の課題とします。
6.6	教員及び職員の評価を適切に行っている。	B	教員及び職員の評価を適切に行っている。	毎年適切に行っておりますが、教職員には開示していません。今後の課題とします。
7	<b>教育成果</b>			
7.1	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	B	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	はい、適切に管理しています。卒業後3年間は保管しています。
7.2	修了・卒業の判定を適切に行っている。	A	修了・卒業の判定を適切に行っている。	入国管理局の指摘を受け、卒業規定をはじめ一部の学則を改定いたしました。それに基づき、適切に行っております。
7.3	日本留学試験・日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A	日本留学試験・日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	はい、ちゃんと把握しており、その結果も教員にフィードバックされています。
7.4	卒業または修了後の進路を把握している。	A	卒業または修了後の進路を把握している。	はい、ちゃんと把握しています。
7.5	卒業生及び修了生の状況を把握するための取り組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	C	卒業生及び修了生の状況を把握するための取り組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	これまで本格的に卒業生の追跡調査は行ってきておりません。今後の課題とします。
8	<b>学生支援</b>			
8.1	学生支援計画を策定し、支援態勢を整備している。	B	学生支援計画を策定し、支援態勢を整備している。	学生の支援はきちんと行っておりますが、書面に計画書は作成していません。今後の課題とします。
8.2	生活指導責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	A	生活指導責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	はい、そのとおりしております。
8.3	日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	A	日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	授業中に適宜行っていますし、年に2～3度課外授業としても行っています。
8.4	留学生生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に行っている。	B	留学生生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に行っている。	入学直後のオリエンテーションは厳格に行っておりますが、在籍者全員のオリエンテーションは定期的には行っていません。必要に応じて行っています。
8.5	住居支援を行っている。	A	住居支援を行っている。	複数の寮を確保しており、管理人とは綿密に連絡を取り合って管理しています。
8.6	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	B	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	指導はきちんと行っております。また、アルバイトの紹介については求人企業からの募集情報を提供してはありますが、紹介業務は行っていません。NPO法人にアルバイト関連の業務をすべて移管しております。
8.7	健康、衛生面について指導する態勢を整えている。	B	健康、衛生面について指導する態勢を整えている。	毎年結核検診を行っており、学生の健康に関しては常に注意を払ってはいますが、今後学校から月に1回程度の生活に関するガイダンスを行い、その中で健康・衛生面についても触れていく予定です。
8.8	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険加入している。	A	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険加入している。	事務の方で学生全員の加入を確認しています。国民健康保険以外の民間の保険にも学校として加入しています。
8.9	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	B	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	学生の対応はきちんと行っておりますが、書面にマニュアルは作成していません。今後の課題とします。
8.10	交通事故等の相談態勢を整備している。	B	交通事故等の相談態勢を整備している。	学生の対応はきちんと行っておりますが、書面にマニュアルは作成していません。今後の課題とします。
8.11	危機管理体制を整備している。	C	危機管理体制を整備している。	危機対応のマニュアルは作成していませんので今後の課題とします。

8.12	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。	B	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。	備品は必要数揃えていますが、火災、地震、台風等の災害発生時のマニュアルは作成しておりませんので今後の課題とします。
8.13	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	C	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	今後の課題とします。
9	<b>進路に関する支援</b>			
9.1	進路指導担当者を特定している。	A	進路指導担当者を特定している。	はい、特定しています。
9.2	学生の希望する進路を把握している。	A	学生の希望する進路を把握している。	はい、きちんと把握しています。
9.3	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	はい、そのようになっています。
9.4	入学時からの一貫した進路指導を行っている。	B	入学時からの一貫した進路指導を行っている。	進路指導記録はきちんと作成していません。また1年次からの継続的な進学指導も今後実践したいと思っています。
10	<b>入国・在留関係に関する指導及び支援</b>			
10.1	入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A	入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	はい、その通りです。
10.2	担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的にしている。	B	担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的にしている。	研修会への参加は継続的には行っていませんので、今後の課題とします。
10.3	入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。	A	入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。	はい、配置しています。
10.4	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	B	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	定期的に行っておりますが、計画書の作成や実施記録は完備していません。今後の課題とします。
10.5	在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A	在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	入国管理局からの通知を熟読しその後重要な点は、ミーティングにて内容の理解を確認したり、不明点は質問して確認しました。
10.6	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	A	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	個別指導を行いました。記録もすべてとっております。
10.7	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的にしている。	B	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的にしている。	継続的にしておりますが、計画書の作成や全体への指導記録は完璧とはいえません。今後の課題とします。
10.8	過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	B	過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	3年前に不法残留者が3%を超えましたが、その後は3%以内です。今後も限りなくゼロに近づけるよう努力してまいります。
11	<b>教育環境</b>			
11.1	教室は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うに必要な遮音性が確保されている。	A	教室は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うに必要な遮音性が確保されている。	はい、確保されています。
11.2	授業時間内に自習できる部屋を確保している。	B	授業時間内に自習できる部屋を確保している。	自習室・図書室は設置してありますが、面積は教室より狭いです。
11.3	教育内容及び学生に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	B	教育内容及び学生に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	図書は整備されていますが、学生が利用可能なパソコンは整備しておりません。今後の課題とします。
11.4	視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	B	視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	すべての教室にAV機器は整備されていますが、PCは1教室のみ、プロジェクターは1個のみとなっています。今後の課題とします。
11.5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	はい、確保しています。
11.6	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	A	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	当校は女子校なので学生用は女子用のみです。
11.7	法令上必要な設備等を備えている。	B	法令上必要な設備等を備えている。	消火器が古くなっていますので更新します。
11.8	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	はい、問題ありません。
11.9	バリアフリー対策を施している。	C	バリアフリー対策を施している。	バリアフリー対策は建物の構造上難しいですが、できることを行っています。今後、要検討したいと思います。
12	<b>入学者の募集と選考</b>			
12.1	理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画を策定している。	A	理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画を策定している。	はい、その通りに行っております。
12.2	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	非該当	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	原則海外の協力機関が現地にて行っております。
12.3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	ホームページ、学校パンフレットを英語、ベトナム語で作成しています。
12.4	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	B	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	正確な情報の提供は行っていますが、代理人の募集活動の実態把握はより一層の努力が必要だとわかりました。
12.5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	B	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	担当者自身は明確な基準、方法があると認識しているが、体制としてそれを共有することについては改善が必要だとわかりました。
12.6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、必ず学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	B	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、必ず学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	面接等により、学生情報の把握・調査を行っているが、記録が徹底できていないので改善が必要だとわかりました。
12.7	入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者のニーズと合致することを確認している。	B	入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者のニーズと合致することを確認している。	学生の能力・ニーズとコースとの適合性を確認はしていますが、記録が徹底できていないので改善が必要だとわかりました。
12.8	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	B	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	学費については明示していますが、学費以外に必要となる費用については明文化が必要だということがわかりました。
12.9	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	B	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	学費返還規定は公開していますが、消費者契約法に厳密に適合しているかどうかは今後の課題とします。
13	<b>財務</b>			
13.1	財務状況は、中長期的に安定している。	B	財務状況は、中長期的に安定している。	学生数減により、中長期的見通しがたたくなくなりました。
13.2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	B	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	これまでの30年間にわたる健全経営が何よりの証拠です。
13.3	適正な会計監査が実施されている。	B	適正な会計監査が実施されている。	当社は株式市場に上場していませんので会計監査を受ける必要はありません。

14	法令順守				
	14.1	法令順守に関する担当者を特定している。	A	法令順守に関する担当者を特定している。	学校長が担当しています。
	14.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	B	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	取り組みは必要に応じて行っておりますが、その記録は取っていません。今後の課題とします。
	14.3	個人情報保護のための対策を取っている。	C	個人情報保護のための対策を取っている。	今後の課題とします。
	14.4	入国管理局、関係官庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A	入国管理局、関係官庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	概ね遅滞なく行っております。但し、当校は日振協には非加盟なので、日振協への届出は行っておりません。
15	地域貢献・社会貢献				
	15.1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	B	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	近隣の大学の日本人学生と交流授業を行いました。継続的に実施できるよう今後も検討を続けます。
	15.2	学生ボランティア活動への支援を行っている	C	学生ボランティア活動への支援を行っている。	これまで全く行っていません。今後の課題とします。
	15.3	公開講座等を実施している。	C	公開講座等を実施している。	これまで全く行っていません。今後の課題とします。